

View this email in your browser



「ここから」本日よりオンライン配信



新しい映像作品「ここから」が完成しました。本日より7月13日まで[無料オンラインプラットフォーム](#)で、配信します。

20分に満たない「ここから」は、全編を通してマキシム・シャリガン作曲のピアノ作品《9つの前奏曲》の、美しい旋律とノスタルジー、そして突然降りかかるような大音響の連打によって紡がれている。

今年1月にロケを行った青ヶ島は、気温こそ20度近くあったが、叩きつけるような風のせいでひどく寒く感じた。島である以上、当然周囲は海に囲まれているはずなのに、そこには海岸線がまったくなく、すべてが断崖絶壁という厳しいランドスケープが広がっていた。撮影は、日本では珍しい植物が繁殖する、深い森というよりはジャングルのような場所で行われた。数ある伊豆諸島の中で、なぜ青ヶ島に惹かれたのか。それは、「ひんぎや」と呼ばれる噴気と蒸気が吹き出す場所の存在を知ったから。あの世とこの世が繋がった穴をもつ島——そんな妄想に囚われたのだった。

「ここから」には、故郷・熊野で毎年2月6日に行われる、1400年の歴史をもつ男だけが参加できる炎の祭祀「お燈まつり」の火が、歴史と現在、聖と俗、女と男をつなぐアンカーとして現れる。かつて異界への移動として繰り返されてきた火、焼却の儀式は、やがて民族浄化の火、そして燃え上がる都市の炎と重なってしまう。

「ここから」は、アートの行為や芸術的プラクティスに潜む暴力性が、世界の蛮行、伝統という名の不条理、そして終わりの見えないパレスチナへのジェノサイドへと連なっていく。

ここでは、ニュースとアート（人工物）の狭間において、映像の美しさ、倫理的な問いの境界線が曖昧なまま、荒々しく投げ出されている。

配信期間：7月1日（火） - 7月13日（日）
リンク：<https://youtu.be/ga4HXxUfF4>（無料）



ここから @ 向井山朋子 YouTube

WE ARE THE HOUSE @京都 + @アムステルダム



Video : Haruki Isao

[京都](#)からスタートし、先月末にアムステルダムにて、オランダ最大最大の舞台芸術祭 [ホーランド・フェスティバル](#)で WE ARE THE HOUSE :サロンを開催しました。

WATHでは家族、ジェンダー、性教育、中絶、生理の貧困、クイズ、フードロスなど、わたしたちの身近にある多様かつ切迫したテーマについて、地元コミュニティ、学生、子供たち、研究者、アクティビストらと交えて、語る場となりました。来年にはWATHで変わされたことば、対話、ストーリーを素材とし、WE ARE THE HOUSE/パフォーマンスとして発表します。

かけがえのない情報を共有し、デリケートなテーマを恐れず向き合ってくださった参加者の皆さま、コラボレーターの方々に心よりお礼を申し上げます。



向井山朋子
Tomoko Mukaiyama



Tomoko Mukaiyama Foundation
tomoko.nl info@tomoko.nl

Multus
multus.tomoko.nl japan@tomoko.nl

Want to change how you receive these emails?
You can [update your preferences](#) or [unsubscribe from this list](#)

